

mobile club G-BRAVER Z

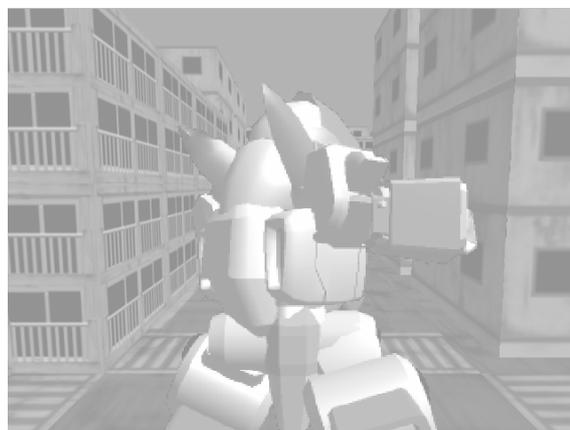
情報システム学研究科 M2 竹内 佑介



～感動はZ次元へ～

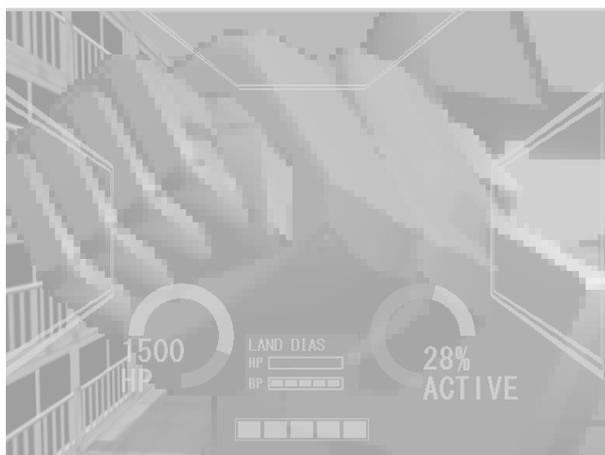
はじめに

自分で生み出したロボットが大活躍するゲームを作りたい……。この命題を実現させるために、僕は大学5年間を過ごしてきた。そして今年最後の文化祭。「本当にロボットに乗っているという感覚」を実現させるために、全力をつくした。



パイロット視点を再現

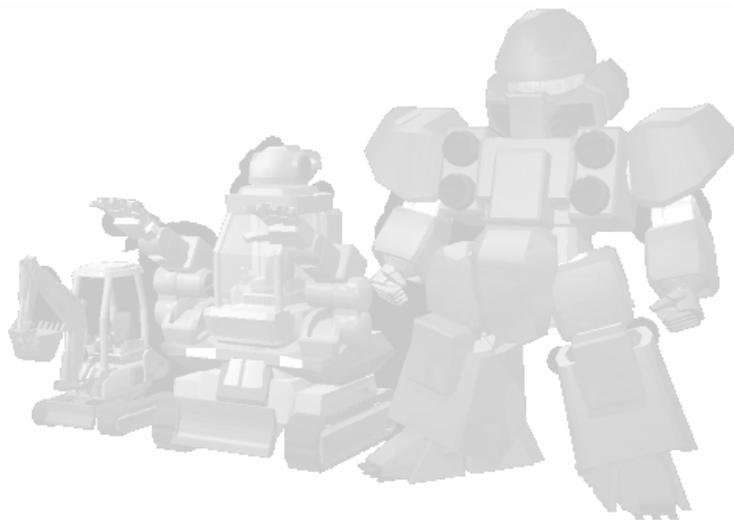
今回はグラフィックスを一新し、すべての物体をフル3Dで表現している。特に戦闘シーンは前回に比べ格段に進化しており、左図のようにコクピットの臨場感をかなり再現している。本作はコクピットにのっているパイロットが見ている視線を再現するというコンセプトでつくられている。なので本作にはダンジョン探索と戦闘シーンの区別はない。



用語解説

アームドーザとは

汎用型巨大ロボットの総称であり、土木・救助・軍事分野で活躍をしている。日本国内ではアームドーザ同士を戦わせる競技が盛んであり、プロ・アマ問わず多くの人たちがアームドーザを楽しんでいる。



機動倶楽部って何？

アームドーザをやっている高校生のこと。アームドーザの新品はかなり高いので、ジャンク置き場などからパーツを調達している。

↑
クレーン車からアームドーザへ至る重機の進化の過程（笑）

謎の挑戦者あらわる

マップ中にあるレアパーツをすべて集めてゲームクリアをすると、君の前に挑戦者が現れるぞ。詳しいことは分からないが、奴は今までの敵と比べ物にならないくらい強力だ。詳しいことは実際のゲームをプレイしてみてくれ。



ストーリー

武内海底鉱山採掘所、通称竜宮城は海底鉱山で栄えた人工島であったが、資源が枯渇した今、誰一人として住んでいない無人島になってしまった。しかし、竜宮城には当時使われていた作業用のアームドーザが置き去りにされていたので、パーツ目当てのアームドーザ使い達が押し寄せるようになってしまった。

こうして竜宮城はアームドーザ使い達の楽園となった。だが、3ヶ月前から異変が起っていた。捨てられたはずのアームドーザが独りで動き出し、いきなり襲い掛かってくるのだ。しかも、そのアームドーザには誰かが乗っていた形跡もない。人々は恐れをこめて、彼らをファントムドーザと呼んだ。

ファントムドーザの噂を聞きつけた優太は、この事件の真相を暴くべく、竜宮城に向かうのだった。

